

優良住宅部品「BL」認定
 〈換気ユニット サニタリー用ファン〉
 〔浴室・トイレ・洗面所用〕

中間取付形ダクトファン
 (プラスチックボディタイプ)
 (24時間換気機能付タイプ)

形名	BL規格
V-18ZMC5-BL	多室用
V-18ZMPC5-BL	(1~3室用)

据付説明書

販売店・工事店さま用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店さまが実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井裏に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチおよび吸込口グリルが必要で、吸込風量を調整する場合はシステム部材の風量調節機構付排気用グリルをご使用ください。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログにより別途ご注意ください。
- 当社製以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマー等）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご確認ください。

優良住宅部品 (BL) について

- 当社の定める据付要領を逸脱しない据付けに瑕疵が生じ、据付作業が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付（又は刻印など）がされている住宅部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
- BL保険制度については、財団法人ベターリビングのホームページ (<http://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内釜式風呂を据付けた浴室には据付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入切をしない 爆発・引火の原因。 	<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浴室内に壁スイッチを設けない 感電の原因。
<p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品に直接水やお湯、かび取りなどをかけない ショート・感電の原因。 	<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。また使用しない 火災の原因。
<p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や工事を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。 ●部品の据付けは確実に行う 落下によりけがの原因。
<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にを行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。
<p>アース確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電の原因。 	

2.据付け前のお願い

お願い

●本体の真下に保守点検口(□450)を必ず設けてください。
●点検口がない場合の本体修理などで、天井などを壊す場合は、お客さまの費用ご負担となります。あらかじめご了承ください。

24時間換気機能を得るためには下記点に留意ください。

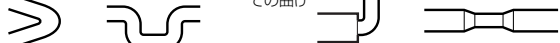
- ドアのアンダーカットなどにより空気の流れを確保してください。
- 排気口が外風の影響を受ける場所（高層住宅等）には据付けないでください。風量が低下し、換気量が不足するおそれがあります。

据付場所

- 浴室など湿気の多い場所に吸込口グリルを据付ける場合は、グリルから水滴が落ちて不快にならない場所に据付けてください。
- 騒音を重視する寝室などに吸込口グリルを据付ける場合は、システム部材のフレキシサイレンサーか中間取付形ストレートサイレンサーを使用すると約10dBの消音効果があります。（サイレンサーは浴室など湿気の多い所では使用しないでください）

天井・ダクト工事

- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水などの浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - 吐出口のすぐそばでの曲げ
 - しぼり



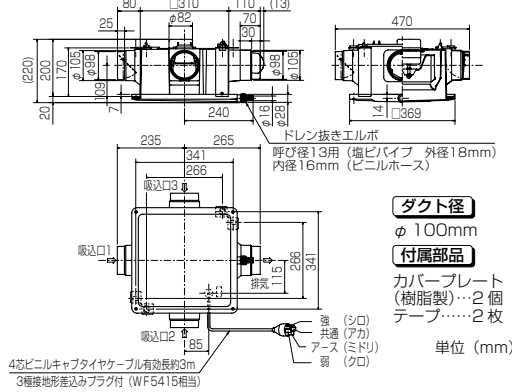
- 据付け前に、必ず排気ダクト、ダクト用システム部材に異常（排気ダクトのつぶれ、ほこり詰まりなど）がないか確認してください。風量低下や異常音発生の原因となります。

据付け

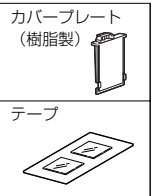
- プラスチックボディタイプの中間取付形ダクトファン及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 温泉や硫黄などの腐食成分を含む場所には据付けないでください。腐食（落下）、漏電（感電）、早期故障の原因となります。
- 業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 浴室など湿気の多いところに据付ける場合は漏電ブレーカーを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- 台所のような油煙の多い場所、有機溶剤のかかる場所には据付けないでください。早期故障（吸込口グリル等プラスチック部品の破損、モーターの故障等）や火災、漏電（感電）、腐食（落下）の原因となります。

3.外形寸法図

■V-18ZMC5-BL、V-18ZMPC5-BL



付属部品



ダクト径
 φ100mm
付属部品
 カバープレート (樹脂製) ……2個
 テープ ……2枚
 単位 (mm)

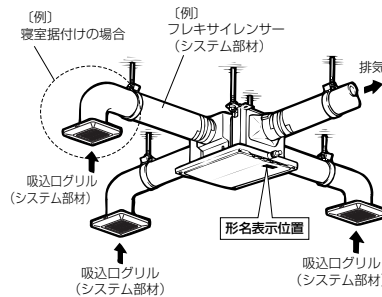
4.据付方法

1 据付け前の準備

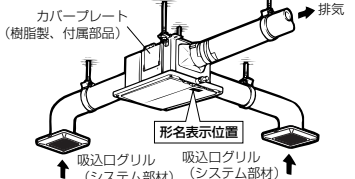
本体の据付位置・吸込方向・排気方向を決めます。

〈3部屋排気〉

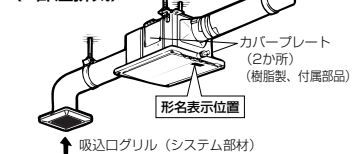
〔例〕吸込口グリルを寝室に据付ける場合、吸込ダクトにフレキシサイレンサーを使用すると消音効果があります。



〈2部屋排気〉



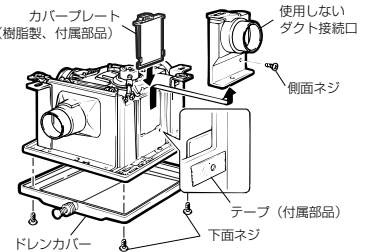
〈1部屋排気〉



※2部屋排気・1部屋排気の場合、吸込方向は上図以外の据付方向も選択できます。

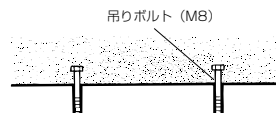
2部屋排気・1部屋排気の場合

- (1) 下面ネジを4本はすし、ドレンカバーをはすす。
- (2) 側面ネジ1本（または2本）をはすし、使用しないダクト接続口をはすす。
- (3) ダクト接続口をはすした箇所に付属のカバープレート（樹脂製）を取付ける。
- (4) 付属のテープでネジ穴をふさぐ。
- (5) ドレンカバーを下面ネジ4本で取付ける。



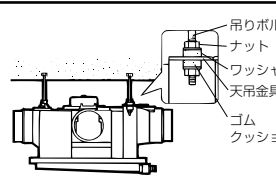
2 本体を吊る

1



外形寸法図の天井吊金具据付位置を参照して吊りボルトを埋込む。

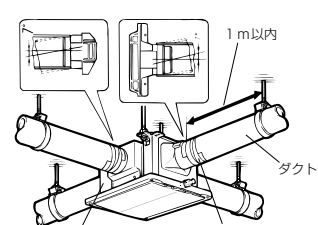
2



本体が水平になるよう（ドレン排出ができるよう）天吊金具を吊りボルトに据付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定する。
 ●下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用や接着剤・緩み防止剤などにより緩み止めを施してください。

3 ダクト接続

1



- (1) 本体から壁排気穴・吸込口グリル位置までダクト配管をする。
- (2) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。
 - 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。（全方向7°）

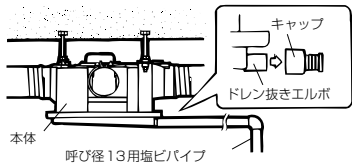
お願い

- ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。
- (3) ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るす。

4.据付方法 つづき

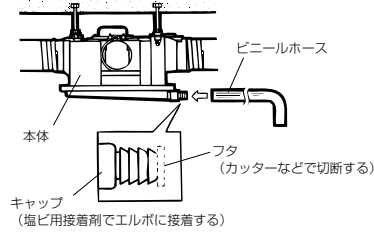
4 ドレン抜き処理

浴室など湿気が多い場所の換気を行う場合には、必ずドレン抜き処理を行う。



■硬質塩ビパイプを据付ける場合

- (1) 本体下面にあるドレン抜きエルボのキャップをはずす。
- (2) 呼び径13用塩ビパイプで接続する。
- (3) 接続部分から水もれないようシール材を塗布する。



■ビニールホースを据付ける場合

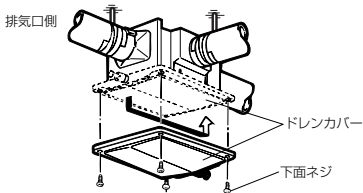
- (1) 本体下面にあるドレン抜きエルボのキャップをはずし、エルボに塩ビ用接着剤を塗布し、キャップを接着する。
- (2) 先端のフタをカッターなどで切断したあと、ビニールホースを奥まで差し込み、ホースバンドで確実に固定する。

■お願い

- ドレン抜きパイプから水が漏れないように水漏れ防止処理を行ってください。
- パイプの端は、必ず排水可能などところまで導きドレン処理を確実に行ってください。
- パイプの途中に、水のたまるようなへこみを作らないでください。

- (1) 4か所の下面ネジをはずし、ドレンカバーをはずす。
- (2) 向きを変更し（4方向可能）、はずした下面ネジで取付ける。

ドレン排出方向の変更

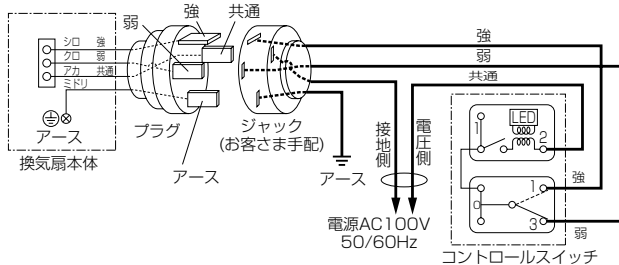


5 電気工事

1.電気結線を間違えますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客様負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。

2.浴室など湿気が多いところで使用する場合は漏電ブレーカーを取付けてください。

■結線図（太線部分を結線する）



- 電源プラグと同形のコンセントを設けて差し込む。
- 電源コード先端には、3極接地形差込みプラグ（7A、125V、WF5415相当品）がついていますので同形のコンセントを取付ける。

※P-04SWL₂、P-04SWLまたは定格4A-300Vのコントロールスイッチを使用してください。

※P-04SWL₂、P-04SWLなどの24時間換気対応のコントロールスイッチを使用せずに24時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。

■お願い

- 電源電線は本体上部のモーターに接触しないように使用してください。

■電圧チェック表

- 結線する前に線間電圧が下記の電圧であることを確認してください。

線間電圧 (V)

スイッチ	測定部	共通-強	共通-弱
切		0	0
強		100	0
弱		0	100



充電部に接触しないよう
十分注意してください。

6 天井材を張る

天井材を張ります。

■お願い

- メンテナンスが行えるよう本体の真下のドレンカバーが取りはずせる位置に保守点検口（□450）を必ず設けてください。

点検口が設置されていない場合、無償保障期間内であっても製品修理する為に必要となる天井その他の取り壊し及び修理費用は工事店様負担になります。

7 吸込口グリルの据付け

システム部材または市販のグリルを使用し、それに同梱の据付説明書を参照して据付けてください。

5.試運転

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている 正しく結線されていない	ブレーカーを「入」にする 結線を確認する（スイッチ部/電源線接続部） ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する。
運転中に異常音や振動がする	本体・ドレンパンが確実に据付けられていない 羽根・吸込口グリルに異物が付着している	据付け直す 異物を取り除く